

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：27008

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇児童が「やってみたい。」と思うような学習の導入を考えて実践を積み重ねてきたことにより、学習に前向きに取り組む姿勢が育っている。</p> <p>◇既習事項や児童の生活経験を取り入れた授業づくりを行ったことで、児童が学習内容を生活場面と関連付けてとらえることができた。</p> <p>◇ICT を活用して資料や考えを可視化したことで、児童が視覚的に学習内容を理解する姿が見られた。</p>
	<p>◇学習で分からないことがあった場合に、友達や先生に聞いて解決しようという姿勢はあるが、分かるまで自分で調べたり、復習したりすることが少ないため定着しにくい。</p> <p>◇学習内容と生活場面を関連付けて考えることができる児童が増えた一方で、生活経験の差から自分の経験と結び付けられない児童が見られた。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
	<p>◇体育会や遠足といった行事やえんじゅ交流を通して、異学年との関係を深めてきた。その結果、上の学年に憧れる気持ちや下の学年に優しく接しようという思いが育っている。また、学習ボランティアとして保護者が参加したり、生活科や総合的な学習の時間に地域の人と関わる機会を設けたりすることで、多くの人に大切にされていると実感することもできている。今後も、他者と関わる楽しさや喜びが実感できるような取組を重ねられるように支えていく。</p>
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力	
他者とともに「わかった・できた」喜びを味わい、愉しんで学ぶ力	
取組	課題探究的な学習の推進 に向けて
	<p>(1) 研究副主題 友達と「わかった・できた」喜びを味わう授業の実現</p> <p>①学級の児童の実態に応じた授業構築</p> <p>②児童が思考・活動する時間の保障</p> <p>③「わかった・できた」となるための教師のサポート</p> <p>④友達と考えを伝え合う場の設定</p> <p>(2) 学びの振り返り</p> <p>①学習の振り返りを蓄積させ、見返す時間を取ることで、自分の成長を自分で実感できるようにする。</p>
	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>(3) 自分たちの生活を振り返る場の設定</p> <p>①毎月の生活の目あてに対して、学級で取り組み方を話し合い、月末に振り返りを行う。結果は掲示して、全校で共有する。</p> <p>(4) 保護者・地域との関わり</p> <p>①学習に協力していただいたり、学習した成果を発表したりする機会を設けることで、つながりをより深めていく。</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について	
	<p>(1) の①では、教師が視覚的に提示する ICT と、児童が思考を整理するための ICT を、学習内容に応じて使い分けることで、児童の学習意欲が高まるようにする。</p> <p>(2) の①では、オクリンクプラスや Google フォームを使い、学級での振り返りを共有しやすいようにすることで、他者の考えに触れ、より多面的に振り返りができるようにする。</p>

<本プログラムの実行に向けて>



